



アイコンと状態の参照




- デバイスの到達可能性状態と管理状態 (1 ページ)
- デバイス同期状態 (3 ページ)
- ポートまたはインターフェイスの状態 (4 ページ)
- 回線または VC の状態 (6 ページ)
- リンクの有用性状態 (14 ページ)
- リンクの特徴 (14 ページ)
- 機器の動作状態 (シャーシビュー) (15 ページ)
- アラーム重大度アイコン (16 ページ)
- デバイス タイプのアイコン (16 ページ)
- 回線または VC ネットワーク トポロジーオーバーレイのアイコン (18 ページ)

デバイスの到達可能性状態と管理状態

デバイスの到達可能性状態：Cisco EPN Manager が設定されたすべてのプロトコルを使用してデバイスと通信できるかどうかを表します。

表 1: デバイスの到達可能性状態

アイコン	デバイスの到達可能性状態	説明	トラブルシューティング
✓	到達可能	Cisco EPN Manager は、SNMP を使用してデバイスに、または ICMP を使用して NCS2K デバイスにアクセスすることができます。	—

	ping 到達可能	Cisco EPN Manager は、ping を使用してデバイスに到達できませんが、SNMP 経由では到達できません。	ICMP ping は成功しますが、SNMP 通信が失敗する原因すべてをチェックします。デバイス SNMP クレデンシャルがデバイスと Cisco EPN Manager の両方で同じであること、SNMP がデバイス上で有効になっているかどうか、またはトランスポートネットワークが設定ミスなどの理由で SNMP パケットをドロップしていないかどうかをチェックします。 基本的なデバイスプロパティの変更 を参照してください。
	到達不能	Cisco EPN Manager は、ping を使用してデバイスに到達できません。	物理デバイスが動作中でネットワークに接続されていることを確認します。
	不明	Cisco EPN Manager は、デバイスに接続できません。	デバイスをチェックします。

デバイスの管理状態：デバイスの設定状態を表します（たとえば、デバイスが ping によって到達できないためにダウンしている場合や、管理者が手動でデバイスをシャットダウンした場合などです）。

表 2: デバイスの管理状態



デバイスの管理状態	説明	トラブルシューティング
管理対象	Cisco EPN Manager は、デバイスを積極的にモニタしています。	該当なし。
メンテナンス	Cisco EPN Manager は、デバイスの到達可能性をチェックしていますが、トラップ、syslog、または TL1 メッセージを処理していません。	デバイスを管理対象状態に移行するには、 デバイスのメンテナンス状態の切り替え を参照してください。

管理対象外	Cisco EPN Manager は、デバイスをモニタしていません。	<p>[ネットワークデバイス (Network Devices)]テーブルで、デバイスを特定し、[最新のインベントリ収集ステータス (Last Inventory Collection Status)]列でデータの横にある [i] アイコンをクリックします。ポップアップ ウィンドウに、詳細とトラブルシューティングのヒントが表示されます。収集問題の一般的な原因は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • デバイス SNMP クレデンシャルが間違っている。 • Cisco EPN Manager 展開がライセンスで許可されているデバイスの数を上回っている。 • デバイスがスイッチ パス トレース専用になっている。 <p>デバイス タイプがサポートされていない場合は、その [デバイス タイプ (Device Type)] が [不明 (Unknown)] になります。そのデバイス タイプのサポートが Cisco.com で提供されているかをチェックするには、[管理 (Administration)] > [ライセンスおよびソフトウェアアップデート (Licenses and Software Updates)] > [ソフトウェアアップデート (Software Update)] を選択してから、[更新の確認 (Check for Updates)] をクリックします。</p>
不明	Cisco EPN Manager は、デバイスに接続できません。	デバイスをチェックします。

デバイス同期状態

[デバイスの同期状態 (Device Sync State)] : デバイスで実行された同期操作のステータスを示します。

表 3: デバイス同期状態

アイコン	デバイス同期状態	説明
	同期中	デバイスの同期を実行中です。
	完了	デバイスの同期が正常に完了しました。

✖	エラー/警告 (Error/Warning)	以下の一覧に示すエラーまたは警告： <ul style="list-style-type: none"> • 追加開始 (Add Initiated) • 収集の失敗 (Collection Failure) • 警告付き完了 (Completed with Warning) • 削除処理中 (Delete In Progress) • サービス中 (In Service) • サービスメンテナンス中 (In Service Maintenance) • ライセンスなし • 収集一部失敗 (Partial Collection Failure) • SNMP 接続失敗 (SNMP Connectivity Failed) • SNMP ユーザ認証失敗 (SNMP User Authentication Failed) • スイッチ ポート トレース (Switch Port Trace) • 誤った CLI クレデンシャル (Wrong CLI Credentials)
---	---------------------------	---








(注) サービスメンテナンスフィルタは、最後のインベントリ収集ステータスには使用できません。

ポートまたはインターフェイスの状態





ポートまたはインターフェイスのプライマリ状態：管理者と運用状態を組み合わせることでポートまたはインターフェイスの最も重要な状態情報を伝えます。[多層トレース (Multilayer Trace)]には、ポートのプライマリ状態またはアラーム状態が表示されます。[シャーシビュー (Chassis View)]の場合は、要素が状態変化を示す色の変化をサポートしていない場合でも、生成されたアラームから状態変更情報を取得できます。





(注) ポート/インターフェイスにアラームが関連付けられている場合、アラームアイコンが表示され、ポートアイコンは表示されません。このアラームは、ポートがテスト中または管理ダウン状態でない場合にのみ表示されます。



ポートまたは インターフェイスのプライ マリ状態	アイコン	管理ステー タス	動作状態
不明		不明	不明
ダウン		アップ	ダウン
テスト		テスト	—
管理上ダウン		管理上ダウ ン	—
アップ		アップ	アップ
自動アップ		アップ	自動アップ

ポートまたはインターフェイスの管理状態：ポートまたはインターフェイスの設定状態を表します（たとえば、管理者が手動でポートをシャットダウンした場合など）。

ポートまたはイ ンターフェイス の管理状態	アイコン	説明
不明		ポートまたはインターフェイスの管理状態は不明です。デバイスからの応答（または不十分な応答）はありません。
管理上ダウン		ポートまたはインターフェイスは管理者によって手動でシャットダウンされました。
アップ		ポートまたはインターフェイスは管理者によって有効にされています。
テスト		ポートまたはインターフェイスは管理者によってテストされています。

ポートまたはインターフェイスの動作状態：ポートまたはインターフェイスの実行状態と、それが適切に動作しているかどうかを伝えます。

ポートまたはイ ンターフェイスの動作状 態	アイコン	説明
不明		ポートまたはインターフェイスの動作状態は不明です。デバイスからの応答（または不十分な応答）はありません。
ダウン		ポートまたはインターフェイスは正しく動作していません。

アップ		ポートまたはインターフェイスがデータを送受信しています。
自動アップ		ポートまたはインターフェイスがデータを送受信しています（特定のデバイスのみがこの状態をサポートしています。他のデバイスは [アップ (Up)] を使用します）。

回線または VC の状態


[回線/VCのプライマリ状態 (Circuit or Primary States)]: サービスビリティ、検出、アラーム、プロビジョニングの順に回線に関する最も重要な状態情報を伝達します。これは、通常、回線または VC のテーブル内の最初の列に表示されます。

回線または VC のプライマリ状態 (Circuit or VC Primary States)	アイコン	サービスビリティ	検出	Alarm	プロビジョニング
欠落 (Missing)		—	欠落 (Missing)	—	—
Down		Down	—	—	—
クリティカル (Critical)		—	—	クリティカル (Critical)	—
[メジャー (Major)]		—	—	[メジャー (Major)]	—
[マイナー (Minor)]		—	—	[マイナー (Minor)]	—
一部ダウン		一部	—	—	—
管理上ダウン		管理上ダウン	—	—	—
一部検出		—	一部	—	—
失敗しました (Failed)		—	—	—	(作成、変更、または削除) 失敗
進行中		—	—	—	(作成、変更、または削除) 進行中

警告			—	警告	—
アップ		アップ	—	—	—
自動アップ		自動アップ	—	—	—
情報 (Info)		—	—	情報 (Info)	—
クリア済み		—	—	クリア済み	—

[回線/VC のサービサビリティ状態 (Circuit or VC Serviceability)] : この値は、回線または VC の管理状態と動作状態の組み合わせです。サービスの運用性に影響するため、管理状態が表示されます。光回線の場合は、管理状態によってアクティブ化および非アクティブ化アクションが使用可能かどうかも決定されます。動作状態は、サービスが機能しているかどうかをすばやく特定するために表示されます。

回線または VC のサービサビリティ状態	アイコン	説明
管理上ダウン		管理者が回線または VC を手動でシャットダウンします。
ダウン (Down)		回線または VC は運用上はダウンし、管理上はアップします。
アップ (Up)		回線または VC は、運用上も、管理上もアップします。
自動アップ (Auto Up)		回線または VC は運用上は自動アップ、管理上はアップします。特定のデバイスのみが自動アップの動作状態をサポートしていません。
取得不可		回線または VC はまだ検出されていないか、その動作ステータスが取得できません。
一部		<p>回線/VC の動作状態または管理状態が部分的です。</p> <ul style="list-style-type: none"> [部分管理状態 (Partial admin state)] : 回線または VC に (一部のサービス リソースをアクティブ化し、他のリソースを非アクティブ化する) 混在管理要求があるか、または管理上アップしているリソースとダウンしているリソースが混在しているか、あるいは動作状態が取得できないリソースがあります。 [部分動作状態 (Partial operational state)] : 回線または VC に一部のリソースのアクティブ化と非アクティブ化が混在しているか、またはリソースの一部の動作状態が取得できません。

Up - Unprotected		<p>保護パスで設定された回線/VC は動作していますが、重大な障害が原因で代替パスに切り替えることはできません。</p> <p>(注) このサービスアビリティステータス表示は、Y字型ケーブル保護および保護 ODU を使用した OCHCC WSON 回線でサポートされます。</p>
---------------------	---	---

次の表に、さまざまなシナリオでの回線/VC の有用性状態の詳細を示します。

テクノロジー	サービス タイプ	シナリオ	サービスアビリティ状態
--------	----------	------	-------------

キャリアイーサネット	EPL、EVPL、アクセスEPL、およびアクセスEVPL	エンドポイント（サービスインスタンス/サブインターフェイス）、クロス接続、およびサービスに参加している疑似回線の動作状態がアップの場合	アップ (Up)
		サービスに参加している送信元と宛先（サービスインスタンス/サブインターフェイス）の両方の管理状態がダウンの場合	管理上ダウン (Admin Down)
		他のすべてのシナリオで、サービスに参加している1つ以上のエンドポイント（サービスインスタンス/サブインターフェイス）、クロス接続、または疑似回線がダウンしている場合	ダウン (Down)
EP-LAN、EVP-LAN、EP ツリー、およびEVP ツリー		サービスに参加しているすべてのエンドポイント（サービスインスタンス/サブインターフェイス）、ブリッジドメイン、VFI、および疑似回線がアップしている場合	アップ (Up)
		サービスに参加している2つ以上のエンドポイント（サービスインスタンス/サブインターフェイス）の動作状態がアップで、残りのエンドポイントがダウンの場合	一部
			管理上ダウン (Admin Down)





		サービスに参加しているすべてのエンドポイント（サービスインスタンス/サブインターフェイス）の管理状態がダウンの場合	
		サービスに参加している1つ以上のエンドポイント（サービスインスタンス/サブインターフェイス）の動作状態がアップで、残りのエンドポイントがダウンの場合	ダウン (Down)
回線エミュレーション (Circuit Emulation)	すべてのサービスタイプ	サービスに参加しているエンドポイント (cemGroup)、基盤となっている TDM コントローラ、クロス接続、および疑似回線の動作状態がアップの場合	アップ (Up)
		サービスに参加している送信元と宛先のエンドポイント (cemGroup) の両方の管理状態がダウンの場合	管理上ダウン (Admin Down)
		他のすべてのシナリオで、サービスに参加しているエンドポイント (cemGroup)、基盤となっている TDM コントローラ、クロス接続、および疑似回線のいずれかの動作状態がアップの場合	ダウン (Down)

MPLS	単方向 TE トンネル (Unidirectional TE Tunnel)	トンネルインターフェイスの動作状態がアップの場合	アップ (Up)
		トンネルインターフェイスの管理状態がダウンの場合	管理上ダウン (Admin Down)
		他のすべてのシナリオでは、トンネルの動作状態がダウンの場合	ダウン (Down)
	双方向 TE トンネル (Bidirectional TE Tunnel)	トンネルの両端のインターフェイスの動作状態がアップの場合	アップ (Up)
		トンネルの両端のインターフェイスの管理者状態がダウンの場合	管理上ダウン (Admin Down)
		それ以外の場合は、トンネルインターフェイスの動作状態がダウンの場合	ダウン (Down)






レイヤ 3 VPN (Layer 3 VPN)		サービスに参加しているすべてのエンドポイント (サブインターフェイス、BDI、およびBVI) の動作状態がアップの場合	アップ (Up)
		サービスに参加している少なくとも2つのエンドポイント (サブインターフェイス、BDI、およびBVI) の動作状態がアップで、残りのエンドポイントがダウンの場合	一部
		サービスに参加しているすべてのエンドポイント (サブインターフェイス、BDI、およびBVI) の管理状態がダウンの場合	管理上ダウン (Admin Down)
		サービスに参加している1つ以上のエンドポイント (サブインターフェイス、BDI、およびBVI) の動作状態がアップで、残りのエンドポイントがダウンの場合	ダウン (Down)
SR TE	SR ポリシー	SR ポリシーの動作状態がアップしている場合	アップ (Up)
		SR ポリシーの管理状態がダウンしている場合	管理上ダウン (Admin Down)
		他のすべてのシナリオでは、SR ポリシーの動作状態がダウンの場合	ダウン (Down)

[回線または VC の検出状態 (Circuit or VC Discovery State)] : サービスとそのコンポーネントのネットワークから検出された最新の状態と構造を表します。検出されたバージョンがある場







合は、アプリケーションが実際にサービス自体をモニタしている（たとえば、有意義な動作データとパフォーマンスデータを定義できる）ことを意味します。

回線または VC の検出状態 (Circuit or VC Discovery State)	アイコン	説明
一部		Cisco EPN Manager によって部分的に検出された回線または VC。その想定エンティティのすべてが検出されたわけではありません。
完全 (Full)		Cisco EPN Manager によって完全に検出された回線または VC。そのため、Cisco EPN Manager は、サービスをモニタして、有意義な動作データとパフォーマンスデータを提供できます。
欠落 (Missing)		まだ Cisco EPN Manager によって検出されていない（ただし、プロビジョニング済みである可能性がある）回線または VC。
Resync		回線または VC は再同期されています。

[回線または VC のプロビジョニング状態 (Circuit or VC Provisioning State)] : 回線または VC についてプロビジョニングする目的があるかどうかと、目的がある場合はそのステータスを表します。調整レポートが生成された場合は、調整アクションの状態が反映されます。

回線または VC プロビジョニングの状態	アイコン	説明
なし (None)		回線または VC が検出されましたが、まだプロビジョニングされていません。回線/VC は変更または削除する場合にプロモートする必要があります。
失敗しました (Failed)		アクションが失敗しました。
進行中 (In Progress)		アクションは開始されましたが、まだ完了していません。
計画済み		アクションは計画されましたが、まだ開始されていません。
成功		アクションは正常に完了しました。

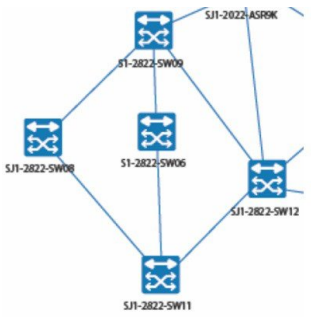
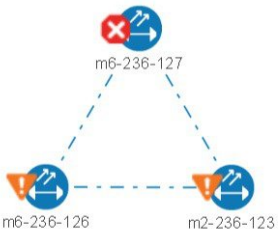
リンクの有用性状態

サービスアビリティ状態	アイコン	説明
管理上ダウン		リンクは意図的に管理者によってシャットダウンされました。
ダウン		リンクがダウンしています（ただしダウンは不適切な状態）。
アップ		リンクはアップの状態、トラフィックがリンクを通過しています。
自動アップ		信号が検出されたためリンクはアップ状態です（この状態は光デバイスでのみサポートされています）。
取得不可		リンクがまだ検出されていないか、またはそのステータスが取得できません。
一部		<p>リンクの要求、リソース、またはリソース状態に不一致があります。例：</p> <ul style="list-style-type: none"> • リンクが、一部のサービスリソースをアクティブ化し、他のサービスリソースを非アクティブにする要求を処理している。 • リンクにいくつかのアクティブリソースといくつかの非アクティブリソースがある。 • アップしているリンクリソースとダウンしているリンクリソースがある。 • リンクのリソースのいずれかの状態が不明である。

リンクの特徴




以下の表では、Cisco EPN Manager の [トポロジマップ (Topology Map)] ビューでデバイス間の接続を表すために使用されるさまざまなタイプのリンクについて説明します。

リンクタイプ	説明

	<p>[実線 (Solid Line)] : 2つのデバイス間のリンクなど、物理リンク、トポロジリンク、またはサービスリンクを示します。</p>
	<p>[破線 (Dashed Line)] : EVC、VPLS サービスインスタンス、またはVPNコンポーネントなど、要素間の関連性またはビジネスリンクを示します。</p>








機器の動作状態（シャーシビュー）

機器の動作状態はネットワーク要素の実行状態を表しています。

機器の動作状態	アイコン	説明
サービス中 (In Service)	(なし)	機器が正常に動作しています。
事前プロビジョニング済み		(Cisco NCS 2000 および Cisco ONS デバイスのみ) 機器は設定されていますが、シャーシには物理的に存在していません。
失敗/無効/ダウン/休止中/メンテナンス中のため休止中		機器は正常に動作していません。
不明		機器の動作状態は不明です。デバイスからの応答はありません (または不十分な応答)。



アラーム重大度アイコン










次の表に、WebGUIのさまざまな部分に表示されるアイコンのアラームの色とその重大度を示します。



重大度アイコン	説明	カラー
	クリティカルアラーム	赤
	メジャーアラーム	オレンジ
	マイナーアラーム	黄
	警告アラーム	ライトブルー
	アラームはクリア済み。正常、OK	緑
	情報アラーム	青
	不確定アラーム	暗い青色

デバイスタイプのアイコン




次の表では、Cisco EPN Manager の [トポロジ (Topology)]ビューと [マルチレイヤトレース (Multi-layer Trace)]ビューでさまざまなデバイスタイプを表すために使用されるアイコンを定義します。

アイコン	定義
	スイッチ (Switch)
	ルータ (Router)


アイコン	定義
	ルータ集約
	<p>セキュア ドメイン ルータ (SDR) が搭載された Cisco NCS 6000 デバイス。SDR の名前はデバイスのアイコン上に直接表示されません。</p> <p>(注) クラスタまたはユーザ定義グループに属するデバイスの SDR ラベルが表示されない場合 (自動クラスタリングがデバイスのプロキシミティに基づいてデバイスに適用されるため) があります。</p>
	L3VPN サービスで構成されたルータ。
	スイッチ集約
	アクセス ポイント (Access Point)
	サービス モジュール
	UCS C シリーズ
	NAM ブレード
	グループ

アイコン	定義
	汎用デバイス
	仮想サーバ
	ワイヤレス LAN コントローラ
	[不明 (Unknown)]
	DWDM ROADM 再生/NCS 2000

回線または VC ネットワーク トポロジーオーバーレイのアイコン

オーバーレイ アイコン	定義
	送信元エンドポイント
	宛先エンドポイント
	ローカルスイッチングを使用したEVCまたはCEM

オーバーレイ アイコン	定義
	<p>回線の作成中にユーザによって追加されたエンドポイント。</p> <p>(注) セグメントルーティングテクノロジータイプの隣接およびノードSIDの両方に「S」が表示されます。</p>
	<p>回線の作成中にユーザによって除外されたエンドポイント。</p>
	<p>回線の作成中に追加または除外されたポートの一部を持つエンドポイント。このエンドポイントには、回線のさまざまなルートに参加している複数のポートが含まれています。</p>
	<p>ルートとして指定された E-TREE EVC エンドポイント。</p>
	<p>アイコンの S は、サーバがデバイス上で設定されていることを示します。</p>
	<p>アイコンの C は、クライアントがデバイス上で設定されていることを示します。</p>
	<p>アイコンの S と C は、サーバとクライアントの両方が同じデバイス上で設定されていることを表します。</p>
	<p>選択されたエンドポイント。</p>
	<p>ハブ：ハブとルートが同じデバイスにある場合（VPLS シナリオ）、ルートアイコンが茶色の丸で囲まれます。</p>
	<p>回線の作成中に追加されたリンク。</p>
	<p>回線の作成中に除外されたリンク。</p>

オーバーレイ アイコン	定義
	回線の作成中に追加または除外されたポートの一部を持つエンドポイント。これは、同じ回線のさまざまなルートに参加している複数のポートを含む集約リンクを表します。